

泊まれるアート！ホテル客室の壁をアーティストが壁画のように装飾
Artist in Hotel “アーティストルーム 桜” が完成しました。
形あるものはすべて、いつか消えてなくなる。散り際の美学、ここにあり。

パークホテル東京（汐留メディアタワー内）は、客室全体をアーティストが装飾する「Artist in Hotel」という取り組みを2012年12月よりスタートしております。2016年には31階フロアの客室すべてを改装するべくプロジェクトが進行中ですが、このほど第13弾の「アーティストルーム 桜」が完成いたしました。

「Artist in Hotel」とは、いわばArtist in Residenceのホテル版。アーティスト自身がホテルに滞在し実際に施設やサービスを利用しながらその場の空気感を感じ取り、ホテルの客室を作品として制作すること。「日本の美意識」を大きなコンセプトに据え、壁画のように部屋の壁紙に直接絵を描いたり、原画やオブジェを壁に設置したりと、出来上がったお部屋は丸ごと、アーティストの世界観が伝わるお部屋となります。「相撲」や「禅」といった、日本にまつわるテーマで制作され、主に海外からのお客様に向けて販売、ご好評をいただいています。

13室目は「桜」をモチーフに日本画家の大竹寛子さんが2014年12月16日から制作をスタート、2015年1月16日に完成いたしました。※注

「もともと日本人は、襖や屏風などを用いて日常生活にアートを取り入れてきた」という大竹さん。客室の角を屏風の折り目のように見立て、桜の木を描くという空間コーディネートをいたしました。部屋に入るとまず目に入るのは、ベッドを覆うような大きな桜。桜の花を儚さや魂の象徴である蝶で描くことで、散り際の美しさを表現いたしました。蝶は部屋を周遊しながら、春夏秋冬という四季の巡り、また循環を表します。また桜の木の向こうに描かれている華やかな金色の雲は、およそ400枚の金箔を、一枚一枚丁寧に貼って仕上げました。

ベッドに横たわると、桜の木からは花びらの形をした蝶が舞い散る。一方、窓の外には東京タワーを借景に都会の風景が広がる。このコントラストに、諸行無常の理を感じていただけでしょうか。

桜の散り際に込められた、日本人の美意識をアーティストルーム「桜」で、どうぞご覧ください。



アーティストルーム 桜 内観

「アーティストルーム 桜 Artist Room Cherry Blossom」概要

宿泊開始：2月1日(日)より WEBサイト上（英語/日本語）、またはお電話にて販売中
部屋タイプ：アーティストルーム ダブル 広さ：22平米 ベッドサイズ：1,600×1,950
販売料金：1室2名利用 35,000円（税金・サービス料・宿泊税込）
《特典》2泊割引10%・朝食無料サービス付き ご予約・お問い合わせ：03-6252-1100

特設サイトURL <http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>

【協力】：不忍画廊 【総合プロデュース】：プロデュース：ART FACTORY'S 粋、creative unit moon (<http://www.moooon.jp>)



深い青で塗られた天井には金色の蝶が舞う



窓際には夏の蝶



窓に映り込んだ桜と、東京タワー



金箔を貼る、大竹さん

大竹寛子（おおたけ・ひろこ）略歴

1980年岐阜県生まれ、2011年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程 日本画研究領域 修了、美術研究博士号取得

2014年東京藝術大学エメラルド賞受賞、現在日本画家として活動中

<主な展示>2015年 「Affinities」 Ambit Gallery, Barcelona スペイン、

2014年「Hiroko Otake Solo exhibition 2014」、

Art Fair Tokyo 2014 東京国際フォーラム ART GALLERY 水無月

注：当ホテルに滞在したり、通ったりしながら制作いたしました。



大竹寛子さん 近影

★ 2/4 現在、別のアーティストが「第9弾 金魚」、「第12弾 山水」の2室を制作中です。

★ 今後、「城」や「鯉」をテーマにしたお部屋の制作もスタートします。制作中のお部屋の見学・取材も承ります。

<本件に関するお問い合わせ>

パークホテル東京 マーケティング部 広報：早乙女

Email : sotome@shibaparkhotel.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

TEL:03-6252-1111(代) FAX : 03-6252-1001 PHS : 070-5368-7440